

三島工場CSRレポート

事業内容: 乗用車用、レーシング用、ライトトラック用タイヤの製造
敷地面積: 112,000m²
従業員数: 578人(2010年4月現在)
所在地: 〒411-0832 静岡県三島市南二日町8番1号
 TEL: 055(975)0800



工場長挨拶



野呂 政博

三島工場は、北に富士山を臨み南に伊豆を控え、水と緑にあふれた地域にあります。乗用車用タイヤを主として生産していますが、環境に与える負荷を軽減するために、産業廃棄物の削減、温室効果ガス排出量の削減を第一の課題とし、生産工程の改善やエネルギーのムダをなくす活動に取り組んでいます。また、環境先進都市・食育先進都市を標榜する三島市にふさわしい工場を目指す取り組みとして、地域や行政の皆さまとのコミュニケーションを推進してきました。全社活動である「YOKOHAMA千年

の杜」プロジェクトでは、植樹会を10月に開催し、地域の皆さまにも参加いただきました。また、小学生の社会見学、中学生・高校生の職業体験学習の場の提供や、静岡県環境保全協会主催の夏休み親子エコ教室の会場をはじめとして、2009年度の工場見学者は約1,300人を数えました。従業員に対する環境意識向上の取り組みとして、エコ検定の受検、河川・工場周辺の清掃活動、エコキャップ運動へも積極的に参加しています。また、2010年度より三島市と機能別消防団の協定を締結し、従業員9人が消防団に加入して市内の火災や自然災害等が発生した際に、工場から出動し、消火作業および警戒にあたることとなりました。これらの活動をさらに推進・拡大し、環境・食育・地域発展に貢献できる工場を目指していきます。

環境への取り組み

2010年度環境方針

- (1) トップレベルの環境貢献企業になる為に、横浜ゴム株式会社三島工場は全ての活動分野で環境配慮した施策に取組みます。
- (2) 信頼され、愛され、光り輝く工場となる為に環境マネジメントシステムを強化し、先手管理による環境汚染・感覚公害の予防と環境改善を継続的に進めます。
- (3) 地球温暖化防止、資源保護のため省資源、省エネルギーを推進します。更に分別徹底で資源の有効利用をし、埋立廃棄物ゼロである完全ゼロエミッションを継続します。
- (4) 関連する法規制及び協定等を遵守し、環境保全に取組みます。
- (5) 環境方針を具現化するため環境目的・目標を設定し、計画的に実行します。方針、目的・目標は、定期的に見直すとともに、必要に応じて改定します。
- (6) 工場で働く全ての人が、本方針を理解し、行動するよう教育と啓蒙を行い周知を図ります。
- (7) 「水と緑と文化のまち」環境先進都市三島市を大切にする為に、横浜ゴム株式会社全社活動である「千年の杜」づくりを積極的に進め、関係諸官庁、地域住民の方々とのコミュニケーションを深めます。
- (8) 本方針は公開します。

環境リスク対応

工場周辺にお住まいの方々に環境モニターとして登録していただき、定期訪問することにより環境情報をいただき、環境リスクを未然に防ぐ活動に取り組んでいます。

また、従業員が環境マネジメントに対する基本的知識を身につけ、多角的視野の習得と環境意識を向上させることを目的に、環境社会検定試験(通称:エコ検定)の受験を推進し、2009年度は17人、総勢51人が合格し、合格者が広い視野から各担当者業務にあたることで、環境管理のレベルアップを図っています。

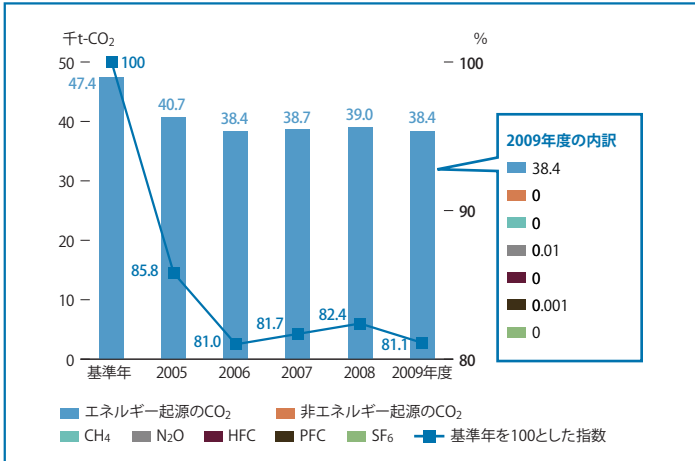
PRTR対象物質

| 政令番号 | 対象化学物質 | 取扱量 ※1 | 排出量 ※2 | 移動量 ※3 | (単位t/年) | | | |
|------|---------------------------------|----------------|--------------|--------------|-------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| | | | | | 安全性影響度評価 VI-2 | | | |
| | | | | | 有害性 ランク (人) | 年間換算 排出量 (人) | 有害性 ランク (生態) | 年間換算 排出量 (生態) |
| 63 | キシレン | 1,577 | 1,577 | 0,000 | C | 15.77 | A | 1577 |
| 115 | N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド | 236.880 | 0.000 | 0.805 | | | | |
| 198 | ヘキサメチレンテトラミン | 18,288 | 0.000 | 0.062 | | | | |
| 227 | トルエン | 1,046 | 1,046 | 0,000 | C | 10.46 | D | 1,046 |
| 273 | フタル酸n-ブチル=ベンジル | 1,314 | 0,000 | 0,005 | | | | |
| 282 | N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド | 105,200 | 0,000 | 0,358 | | | | |
| 307 | ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル | 1,351 | 0,000 | 0,005 | | | | |
| | 総合計 | 365,656 | 2,623 | 1,235 | | 26.23 | | 1578.0 |

1: 取扱量は1トン以上を記載(ダイオキシン類を除く)ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5トン以上を記載
 2: 排出量＝大気＋公共用水域＋土壌
 3: 移動量＝廃棄物＋公共下水道

環境への取り組み

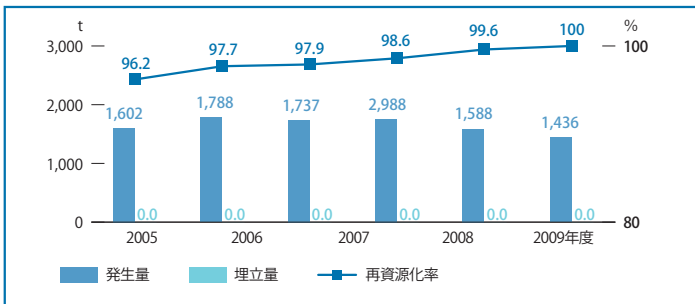
■温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数



※基準年：1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法：環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境省公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。また、温対法改正(2010年3月31日)に伴い、燃料種別の発熱量と排出係数を見直しました。

■廃棄物データ

2004年度より完全ゼロエミッションを継続しています。
 2009年度より再資源化率100%を達成しました。



■大気関係測定データ(主要施設)

| 施設名称 | 項目 | 規制値 | 自主管理値 | 2009年度実績 | | |
|--------------------|----------------------------|-----|-------|----------|---------|---------|
| | | | | 平均値 | 最大値 | 最小値 |
| 三島工場 コージェネレーション | 窒素酸化物濃度(ppm) | 150 | 50 | 21 | 25 | 19 |
| | ばいじん濃度(g/m ³ N) | 0.1 | 0.03 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 |
| 三島工場 ボイラー | 窒素酸化物濃度(ppm) | 150 | 100 | 23 | 35 | 11 |
| | ばいじん濃度(g/m ³ N) | 0.1 | 0.05 | 0.001未満 | 0.001未満 | 0.001未満 |

※大気汚染防止法、三島市指導値に準拠、2009年度も違反なし

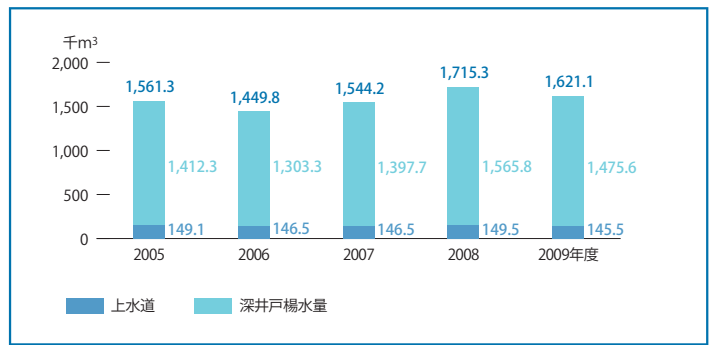
焼却炉施設廃止状況：2001年12月1日廃止

■水質関係測定データ(主要排水)

| 排水口 | 項目 | 規制値 | 自主管理値 | 2009年度実績 | | |
|------|-------------|----------|---------|----------|-------|-------|
| | | | | 平均値 | 最大値 | 最小値 |
| 三島工場 | P H | ★5.8~8.6 | 6.2~8.2 | 7.7 | 8.0 | 7.2 |
| | BOD濃度(mg/l) | 15 | 8 | 1.4 | 3.9 | 0.5未満 |
| | COD濃度(mg/l) | ★120 | 60 | 1.7 | 4.8 | 1.1 |
| | SS濃度(mg/l) | 20 | 15 | 1.5 | 8.0 | 1.0未満 |
| | 油分濃度(mg/l) | 2 | 1.5 | 1.0未満 | 1.0未満 | 1.0未満 |

※三島市環境保全協定、★は水質汚濁防止法に準拠、2009年度も違反なし

■水使用量



安全への取り組み

2010年度安全方針

基本方針

従業員、協力社員の安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識の下に、安全、健康で快適な職場を実現する。労働安全衛生マネジメントシステムを適切に実施運用することにより、全員の協力のもとで、3S活動を基本として、安全衛生活動を推進し、継続的な改善を図る。

行動指針

- (1) 設備・作業のリスクアセスメントを実施し、リスク低減活動を進め、安全・安心な事業場づくりを進める。
- (2) 労働安全衛生に関する法令及び当社規程の遵守に取り組む。
- (3) 安全衛生教育を実施し、安全を第一とする人づくりに取り組む。
- (4) 従業員の疲労やストレスを軽減するため、快適な職場環境の形成を促進する。
- (5) 職制による声掛け運動で良好なコミュニケーションを図る。
- (6) この方針は、協力会社へも表明し、協力を要請する。

地域社会とのコミュニケーション

これまで寄せられた主なご意見と対応内容

騒音の外部漏えいを防ぐため、個別の音源で対策や防音壁を設置し、騒音漏えいを大幅に改善しました。

地域清掃活動への参加

工場周辺の御殿川の河川清掃に加え、三島地区環境保全推進協議会が主催する5月の「三島の川をきれいにする掃除奉仕」、6月の「せせらぎルート清掃」、9月の「大場川河川敷清掃」に延べ72人の従業員がボランティアで参加しました。

工場施設の開放

2009年はグラウンド、体育館の社外の方々への利用数は延べ742件を数え、8月の小学生ドミノ倒し記録会や、10月には静岡県重度障害者支援事業所連絡会交流会に体育館を利用いた



ドミノ大会

工場見学および高校生インターンシップの受入れ

教育支援の一環として小、中学校の工場見学や、地元高校生のインターンシップの受け入れを行っています。また、2009年度は地域の方々をはじめとして87件の工場見学を受付、1,322人の方々が見学されました。



親子エコ教室



中学生体験学習

地域貢献活動(消防団活動)

三島市と消防団員確保に関する協定を締結し、従業員9人が機能別消防団員として市内の火災や自然災害等が発生した際に、工場から出勤し、消化作業および警戒にあたることとなりました。消防団員としての役割は以下のとおりです。

- 平日の昼間の消防団員が少ない時間帯に、三島市消防団第2分団出勤地域の火災発生時に出勤、消火活動にあたる。
- その他自然災害等に対しては、出勤要請に応じて警戒、復旧等の活動にあたる。

この取り組みは、県内初の、企業との機能別消防団協定締結として注目を浴び、各種報道機関でも取り上げられました。

また、合わせて消防団協力事業所表示証の交付を受けました。



消防団



消防団協力事業所表示証



千年の杜プロジェクト

2009年10月31日に第2期植樹会を実施しました。当日は従業員とその家族、地域の皆様など572人が参加。従業員が中心となって育てた3,870本の自前苗木を含む全6,675本(シイ、カシ、タブなど52種類)を植樹しました。



参加従業員の声：寺本 義行

7月から10月まで毎日参加した丸太の伐採や運搬などはとても大変な活動でしたが、近所の方からの麦茶の差し入れや協力的な言葉は、大きな励みになりました。実行し続けることで、周囲の人も協力してくれることを実感しました。



参加従業員の声：川口 忠政

準備も含めて、これまでに50日以上参加しました。この活動に参加してからは、環境を身近に感じるようになり、「自分にできることはないか」を考えて、ゴミの分別を徹底したり、エコバック持ち歩くようになりました。



参加従業員の声：鈴木 増美

「千年の杜」の名前のお通り、小さな苗木が大木になるには長い道のりですが、将来、工場が緑に囲まれているのを想像するとワクワクします。周りの皆さまにも、杜の成長を温かく見守っていただきたいと思います。